

第7期介護保険事業計画「取組と目標」に対する自己評価シート

※「介護保険事業(支援)計画の進捗管理の手引き(平成30年7月30日厚生労働省老健局介護保険計画課)」の自己評価シートをもとに作成

保険者名	第7期介護保険事業計画に記載の内容				令和2年度(年度末実績)		
	区分	現状と課題	第7期における具体的な取組	目標 (事業内容、指標等)	実施内容	自己評価	課題と対応策
小松市	②給付適正化	(現状) ○報酬改定等の制度改革が行われるなか、地域密着型サービス事業者の制度改革への理解が充分とはいえない。 ○制度改革や運営について、事業者が意見交換する機会が少ない。 ○介護支援専門員のケアマネジメントの質の向上を目的とした学習機会があまりない。	介護給付の適正化	【地域密着型サービス事業者等への実地指導、集団指導の実施】 介護給付に係る制度改革内容の理解を促進するため、事業者への指導等を行うもの。 (目標1)実地指導の実施 平成30年度 15事業所 令和元年度 15事業所 令和2年度 15事業所 ※介護予防と介護両方ある場合も1事業所として計算 (目標2)集団指導の実施 平成30年度 2回 令和元年度 2回 令和2年度 2回 【適正なケアマネジメントを行うための介護支援専門員等への勉強会の開催】 (目標3) 平成30年度 4回 令和元年度 4回 令和2年度 4回	○実地指導の実施 ○集団指導の実施 ○介護支援専門員への勉強会の実施  (結果1)実地指導の実施 平成30年度 15事業所 令和元年度 21事業所 令和2年度 14事業所 ※介護予防と介護両方ある場合も1事業所として計算 (結果2)集団指導の実施 平成30年度 2回(居宅介護支援事業所) 令和元年度 2回(居宅介護支援事業所) 令和2年度 3回(居宅介護支援事業所) (結果3)介護支援専門員への勉強会の実施 平成30年度 2回(居宅介護支援事業所) 令和元年度 2回(居宅介護支援事業所) 令和2年度 3回(居宅介護支援事業所)	◎	○介護支援専門員の資質の向上を目的に、居宅・包括連絡会において、主任介護支援専門員が中心となって今後の連絡会を主催することを確認した。今後も引き続き、市と地域包括支援センター等と連携していきたい。 ○小規模多機能型や認知症グループホーム、通所系連絡会等、サービス種別毎に事業者が自主的な勉強会を開催し、市がバックアップする体制ができつつあるので、今後も制度改革への理解や事業者との意見交換の場にしたい。
小松市	②給付適正化	(現状) ○利用者とその家族がこれまで受けた介護サービスの利用状況や実績について関心がない場合がある。	介護給付の適正化	○介護給付費の通知(発送) 年3回、介護給付費通知を発行する。  (目標1) 平成30年度 年3回 令和元年度 年3回 令和2年度 年3回	○介護給付費の通知(発送)  (結果)介護給付費の通知 平成30年度 年3回送付(延べ13,808件) 令和元年度 年3回送付(延べ13,772件) 令和2年度 年3回送付(延べ13,747件)	◎	○介護給付費の送付について、利用者やケアマネに制度の趣旨を理解してもらえるように、記載内容について、見直しの検討を行った。次年度は、記載内容について、システム改修を検討したい。
	②給付適正化						
	②給付適正化						

※行は適宜追加ください。